【　臨床研究に関する情報の公開　】

血液がんの治療で当院に入院された患者さまの
試料・情報を用いた医学系研究に対するご協力のお願いについて

項　　目	内　　容
１．研究課題名	初回化学療法を受けた血液がん患者における,化学療法前の身体状況，宅退院に影響を及ぼす要因分析
２．研究の対象者	2020年05月01日から2023年12月31日までの間に，血液がんの診断にて化学療法の初回導入となった患者さまのうち，リハビリテーション介入が行われた方を対象とします.
３．研究期間	2024年11月25日　～　2025年5月18日 ※データ収集、学会発表に要する研究期間
４．研究実施体制と研究責任者	研究実施箇所：関西電力病院　リハビリテーション部 研究責任技師：リハビリテーション部技師　沢田　潤 共同研究機関：なし 資料・情報提供機関：なし
５．本研究の意義・目的	血液がん患者は化学療法や，それに伴う臥床により身体機能や日常生活動作能力が低下する可能性が高まります．リハビリテーション介入していても自宅退院が困難，家族や社会資源の介助が必要になる場合も少なくありません．しかし，どのような特徴を持った患者が自宅退院が困難になるのかは明らかではない. そこで本研究では，血液がんの診断にて化学療法が導入された方で，3クール終了時における自宅退院状況を調査し，退院の可否に影響を及ぼす因子を検討します．本研究の結果から，退院できなかった患者群の特徴を明らかにすることができれば，リハビリテーション計画を立案するにあたって有益な情報となることが期待されます.
６．研究の方法	本研究は後方視的観察研究です．電子カルテ内の診療録より情報収集（次項参照）し，化学療法を受ける血液がん患者に対する3クール終了時の自宅退院状況の因子を調査します．本研究に際して，個人の特定が可能な情報は解析に用いません.
７．研究に用いる試料・情報の種類	年齢，性別，BMI，主疾患名，併存症，治療内容，CARG score，介護保険の有無，住居形態，同居者の有無，リハビリ単位数/実施率，3クール目までの退院の可否，身体機能(PS，握力，下肢筋力，SPPB，6分間歩行距離)，ADL能力(Barthel index)，身体症状スケール(エドモントン症状評価システム)，生理検査値，心臓超音波検査のデータを電子カルテ内の診療録より収集します.
８．試料・情報の保管方法と廃棄方法	患者様の診療情報・データ等は，解析する前にID・氏名・生年月日等の個人情報を削り，代わりに新しく符号をつけ，個人が特定できないようにした上で当院のパスワードロックをかけたパソコンで保管します．データを廃棄する際は複数名で完全にデータを消去したことを確認します.
９．個人情報の保護について	この研究に関わって収集される試料や情報・データ等は外部に漏えいすることのないように，慎重に取り扱います．研究結果は個人が特定できない形式で学会や医学雑誌に公表される予定です．研究にご自身の臨床データや試料を提供したくない場合は，下記の問い合わせ・苦情等の窓口までお申し出下さい．お申し出いただいても診療等に不利益が生じることはありません.
10．情報管理責任者	関西電力病院　リハビリテーション部　沢田　潤
11．問い合わせ・苦情等の窓口	〒553－0003　大阪市福島区福島2丁目1番7号 関西電力病院　リハビリテーション部　沢田　潤 電話：06-6458-5821（代表）

文書様式作成者：古賀和弘（倫理委員会）＜2021.6.28＞